

令和2年11月6日

自動車局技術・環境政策課

車両安全対策の新たな目標と対策の方向性を検討します ～技術安全ワーキンググループ（第1回）を開催～

交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会技術安全ワーキンググループを設置し、車両安全対策の交通事故死者数等の新たな削減目標と対策の方向性について検討を行います。

1. 趣旨

政府は、昭和46年以降5年ごとに「交通安全基本計画」を作成し、「人」、「道」、「車」の各側面から交通安全対策を総合的に推進しています。この交通安全基本計画策定にあたり、これまで国土交通省自動車局では「車」の側面からの具体的な目標や対策について、交通安全基本計画の議論を踏まえ検討してきました（※）。

本年度は、第10次交通安全基本計画の最終年、かつ、第11次交通安全基本計画の策定年であることを踏まえ、

- 前回（平成28年）報告書で示された目標の達成状況等の評価
- 第11次交通安全基本計画における重点分野に係る車両安全対策
- 事故実態、技術の進展及び社会環境の変化を踏まえた今後の車両安全対策

について審議を行い、車両安全対策による交通事故の死者数等の新たな削減目標の設定及び、この目標達成に向けた今後の車両安全対策の方向性を明らかにします。

2. 検討体制

国土交通省交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会のもとに「技術安全ワーキンググループ」を設置し、審議を行います。※委員名簿は、別紙1のとおり。

3. 第1回会議の開催

(1) 日 時：令和2年11月13日（金）13：00～15：30

(2) 場 所：TKP新橋カンファレンスセンター ホール14G

東京都千代田区内幸町1丁目3-1 幸ビルディング 14階

※1. 会議は別紙2の要領で公開とします。

※2. 議事録及び会議資料は、後日、国土交通省ホームページに掲載いたします。

4. 今後の検討スケジュール

来年春頃を目処に結論を得る予定です。

（お問い合わせ先）

自動車局技術・環境政策課 東海、奈良、八田

代表：03-5253-8111（内線42253、42254）

直通：03-5253-8592 FAX：03-5253-1639

※第10次交通安全基本計画策定の際には、交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会技術安全ワーキンググループを設置し報告書を取りまとめ、以後、同報告に基づく対策等を実施しているところです。

交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会
技術安全ワーキンググループ 委員名簿

(敬称略)

【委員長】

須田 義大 東京大学 生産技術研究所次世代モビリティ研究センター 教授
モビリティ・イノベーション連携研究機構長

【委員】(五十音順)

安部 誠治 関西大学 社会安全学部 教授

石井 素 独立行政法人 自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 理事

岩貞 るみこ モータージャーナリスト

春日 伸予 芝浦工業大学 工学部電気工学科 教授

坪田 郁子 公益社団法人 全国消費生活相談員協会 専務理事

戸崎 肇 桜美林大学 航空・マネジメント学群 教授

中野 公彦 東京大学 生産技術研究所次世代モビリティ研究センター 教授

早坂 学 読売新聞東京本社 論説委員

廣瀬 敏也 芝浦工業大学 工学部機械機能工学科 准教授

榎 徹雄 東京都市大学 理工学部機械工学科 教授

水野 幸治 名古屋大学 大学院工学研究科 教授

交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会
技術安全ワーキンググループへのWEB傍聴希望について

1. 本会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、WEB上での傍聴のみとさせていただきます。

傍聴ご希望の場合は、11月12日（木）12時までに以下のとおり、電子メール又はFAXにてご連絡下さい。期日までにご連絡をいただいた方にWEB会議のURLを送付いたします。

件名：【WEB傍聴希望】技術安全ワーキンググループ（第1回）

本文：氏名（ふりがな）、所属、電話番号

送付先：mlit_techsafety_wg@tohatsu.co.jp（技術安全ワーキンググループ事務局）

FAX：03-5220-8601

※通信設備の都合により、法人の場合、1社につき1回線とさせていただきます。

※傍聴人数を制限させていただく場合や通信状況によって映像の乱れや一時的な停止があることをあらかじめご了承ください。

2. カメラ撮りは冒頭のみ可能とします。カメラ撮りを希望される報道関係者は、11月13日（金）12:45までに会議室前にお集まりください。

※当日のマスク着用及び受付時の検温の実施へのご協力をお願いいたします。

※携帯電話等の呼び出し音のスイッチは必ず切っておいて下さい。

3. 会議資料、議事概要については、後日、国土交通省ホームページに掲載いたします。

4. 開催日時及び場所

（1）日時：令和2年11月13日（金）13:00～15:30

（2）場所：TKP新橋カンファレンスセンター ホール14G

東京都千代田区内幸町1丁目3-1 幸ビルディング 14階

○政府は、昭和46年以降5年ごとに「交通安全基本計画」を作成し、「人」、「道」、「車」の各側面から交通安全対策を総合的に推進
 ○国土交通省自動車局では、同計画の議論を踏まえ「車」の側面からの具体的な目標や対策について、技術安全ワーキンググループで検討

政府全体
 (交通安全基本計画)

「人」、「道」、「車」の3つの要素について政府をあげて交通安全対策を推進

- ・第11次交通安全基本計画(令和3~7年度)を審議中
- ・令和3年3月末に中央交通安全対策会議で同計画を決定予定

自動車局
 (車両の安全対策)

交通安全対策のうち車両の安全対策を推進

- ・車両の安全基準の策定
- ・安全な車の普及促進
- ・先進安全技術の開発普及促進 等

連動

主な検討事項(案)

- 前回(平成28年)、報告書で示された目標※の達成状況等の評価及び新たな削減目標の設定
- 第11次交通安全基本計画における重点分野に係る車両安全対策の抽出
- 事故実態、技術の進展及び社会環境の変化を踏まえた今後の車両安全対策の策定

※2020年までに車両の安全対策により、30日以内交通事故死者数を1,000人削減(2010年比)

第11次交通安全基本計画骨子案における重点分野

高齢者及び子供の安全確保

歩行者・自転車の安全確保

先進技術の活用推進

生活道路の安全確保

車両安全対策の例

●自動運転技術(Lv3~)

出典: Automated Vehicle Safety Consortium HP

●衝突被害軽減ブレーキ

出典: (株) SUBARU HP

●新たな安全支援技術(出会い頭検知、運転視界支援等)

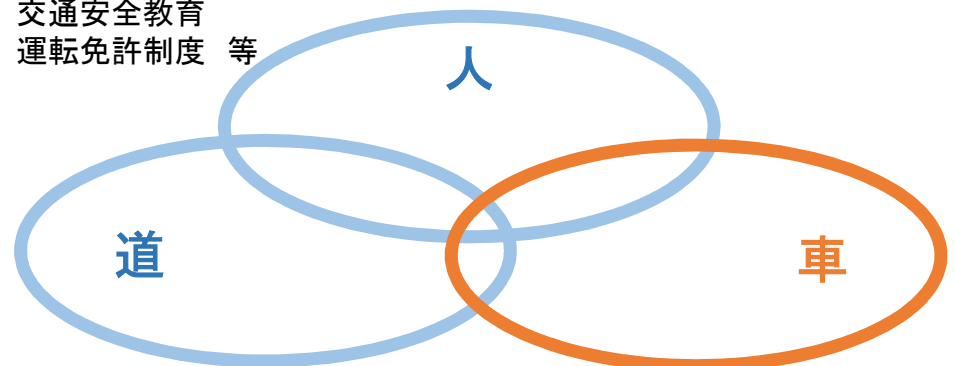
出典: 日野自動車(株)HP

●高度な運転支援技術(Lv2)

出典: 本田技研工業(株)HP

●ISA(自動速度制御装置)
ISA: Intelligent Speed Assistance

●ドライバー異常時対応システム



- ・生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備
- ・幹線道路における交通安全対策の推進
- ・自転車利用環境の総合的整備 等

- ・車両の安全基準の策定
- ・安全な車の普及促進
- ・先進安全技術の開発普及促進 等